

平成 30 年 11 月 15 日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社**新生企業投資による株式会社 TBM への投資実行について**

株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下「新生銀行」)の子会社である新生企業投資株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平、以下「新生企業投資」)は、株式会社 TBM(東京都中央区、代表取締役 CEO 山崎 敦義、以下「TBM」)に対し、ESG 投資^{※1}の一環として出資を行いました。

TBM は、石灰石を主原料とする新素材 LIMEX(ライメックス)を開発・製造・販売するベンチャー企業です。平成 28 年に米国シリコンバレーでベンチャー企業を育成する 3 大アクセラレーターのひとつである Plug and Play において、年間を通して「世の中に最も社会的影響を与える企業—ソーシャルインパクトアワード」を受賞しています。TBM は、これまでに 3,000 社を超える企業に LIMEX 製品を導入した実績を有しています。

LIMEX は、原料に水や木材パルプをほぼ使用しない紙の代替品やプラスチックの使用量を抑えたプラスチック代替品となる日本発の新素材です。原料の石灰石は、日本においても自給率が 100%を超えており枯渇の懸念が少ないこと、LIMEX を代替として石油由来成分の使用を抑えることで、プラスチック製品の製造コストの低減が可能であることから、エコロジーとエコノミーを両立する素材として注目されています。TBM は、リサイクルが可能である LIMEX をより価値の高いプラスチック代替品として再利用するアップサイクルや、生分解性の LIMEX の開発に取り組むなど、循環型社会への移行を目指す取り組みを加速しています。

TBM は、平成 27 年に経済産業省の支援を受けて宮城県白石市に第一プラントを建設、今般新たに宮城県多賀城市にて第二プラントを建設して、LIMEX の量産化を図ります。この第二プラントの立ち上げや海外での事業展開を行うための資金として、第三者割当増資による調達を実施しており、新生銀行グループは新生企業投資を通じて、その一部の引受を行いました。新生銀行グループは、本投資を通じて投資収益を期待するとともに、持続可能な社会の実現を目指す TBM の取り組みを資金面及びビジネスマッチングなどからサポートしていきます。

新生銀行グループでは、子育て支援関連ベンチャーを投資対象としたインパクト投資^{※2}をはじめ、持続可能な社会の実現に貢献するため、ESG 投資に取り組んでいます。新生銀行と新生企業投資では、投資対象会社のさらなる発掘や育成に取り組んでまいります。

※1「ESG 投資」は、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の要素を考慮する投資手法であり、「ESG」はこれらの英語の頭文字を合わせたもの。

※2「インパクト投資」は、経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資のこと。

【株式会社 TBM の概要】

代 表 者 : 代表取締役 CEO 山崎 敦義
本 社 : 東京都中央区銀座 2-7-17-6F
設 立 : 平成 23 年
資 本 金 : 91 億 9,480 万円(資本準備金含む)/平成 30 年 11 月時点
事 業 内 容 : LIMEX 及び LIMEX 製品の開発・製造・販売
U R L : <https://tb-m.com/limex/>

以 上